

乙 第 号

河本 慶子 学位請求論文

審 査 要 旨

奈 良 県 立 医 科 大 学

論文審査の要旨及び担当者

報告番号	乙第	号	氏名	河本 慶子
論文審査担当者	委員長		教授	藤本 眞一
	委員		教授	西尾 健治
	委員		教授	今村 知明
	(指導教員)			

主論文

Japanese Consumer Perceptions of Genetically Modified Food: Findings
From an International Comparative Study

(和訳) 遺伝子組み換え食品に関する日本の消費者意識に関する国際比較

河本慶子、岡本左和子、濱田美来、尾花尚弥、佐守真実、今村知明

Interactive Journal of Medical Research

Vol 5, No 3 (2016):Jul-Sept

Published on 29.08.16

論文審査の要旨

遺伝子組み換え技術の革新により、その技術を利用した食品（GM食品）は世界的に拡大した。GM食品による健康被害は報告されていないが、過去の報告では日本人は受容から抵抗まで様々である。日本人のGM食品への意識を明らかにし、GM食品の正しい理解に基づく消費行動を促すリスクコミュニケーションの検討を目的に4か国（日米英仏）比較研究を行った。

方法は、2013年4月～5月、各国450名にWeb調査を実施した。①帰属情報、②健康被害に対する恐怖感、③GM作物への抵抗感、④GM食品を品種改良作物に名称を変えた場合の抵抗感、⑤GM技術と食品に関する科学的説明を理解するモチベーションと⑥理解度、⑦GM食品への支払い意思額(Willingness to pay: WTP)を調査した。

結果は、4か国全てがGM食品に一定の抵抗感を示し、上記①～⑥については概ね仏国が抵抗感が最も強く (<0.01)、次は日本であった。帰属情報には一定の傾向があるものの、決定要因ではなかった。仏米英の3国は、GM食品の安全性を示す科学的データと全ての食品が持つ危険の理解がGM食品の受容につながるとしたが (<0.01)、日本の消費者はGM技術は受容できるが、GM食品は拒否を示した (<0.01)。GM食品の購入意思がある者のWTPは、日本人は3割引き（他3国は2割引き）を示した。

以上より、GM食品には負の言外認知があり、GM技術の利点と安値感などの消費者が望む情報提供がGM食品の適切な理解のきっかけになると考える。

参 考 論 文

1. 卒後研修における行動科学教育の必要性
河本慶子
医学教育 46 卷 4 号 335-342, 2015
2. 医学教育におけるコミュニケーション教育の重要性について
河本慶子、植村和正
MEDi. magazine NO. 16 2008 SPRING 22-23
3. Two adult cases of pulmonary artery sling
Komoto K, Ha-Kawa S, Tanigawa N, Kinoshita T
Intern Med; 52(11):1271-2, 2013
4. 梅干しによる運動誘発性アナフィラキシーの1例
河本 慶子, 木村 穰, 堀尾 武
日本皮膚アレルギー学会雑誌 11 卷 2 号 Page62-66(2003. 06)
5. カルバマゼピンとリン酸ジヒドロコデインが原因であったStevens-Johnson syndrome
河本 慶子, 松本 幸子, 橋本 洋子, 堀尾 武
日本皮膚アレルギー学会雑誌 10 卷 3 号 Page117-122(2002. 09)
6. 膠原病に伴うレイノー現象のProstaglandin E1によるイオントフォレーシス療法
河本 慶子, 赤松 浩彦, 香川 英生, 堀尾 武
日本皮膚科学会雑誌 111 卷 9 号 Page1339-1345(2001. 08)
7. Congenital self-healing reticulohistiocytosis(CSHR)
河本 慶子, 為政 大幾, 堀尾 武
皮膚 41 卷 6 号 Page679-682(1999. 12)

8. セボフルレンの至適麻酔深度について

河本 慶子, 内田 盛夫, 奥田 平治, 野川 徳二, 片山 剋之
麻酔と蘇生(0385-1664)28 卷 3 号 Page275-277(1992. 09)

9. 医師養成課程におけるプロフェッショナルリズム教育の現状調査

朝比奈 真由美, 河本 慶子, 宮田 靖志, 野村 英樹, 尾藤 誠司,
板井 孝壺郎, 浅井 篤, 天野 隆弘, 井上 千鹿子, 大生 定義,
後藤 英司
医学教育 43 卷 6 号 Page447-452(2012. 12)

10. 提言 医師養成課程におけるプロフェッショナルリズム教育の導入と具体化
について

宮田 靖志, 野村 英樹, 尾藤 誠司, 河本 慶子, 朝比奈 真由美,
板井 孝壺郎, 浅井 篤, 天野 隆弘, 大生 定義, 後藤 英司
医学教育 42 卷 2 号 Page123-126(2011)

11. 橋本病と円形脱毛症を合併した尋常性乾癬の1例

加藤 典子, 河本 慶子, 橋本 洋子, 為政 大幾, 岡本 祐之, 堀尾
武
皮膚の科学 (1347-1813)4 卷 3 号 Page244-248(2005. 06)

12. 巨大な腫瘤を形成したBowen癌の1例

大江 秀一, 為政 大幾, 河本 慶子, 大貫 雅子, 堀尾 修, 幾井 宣
行, 堀尾 武
皮膚の科学 3 卷 6 号 Page572-575(2004. 12)

13. 皮脂欠乏性皮膚炎に対する抗アレルギー薬の早期止痒効果のVASによる検討

岡本 祐之, 水野 可魚, 河本 慶子, 堀尾 武
皮膚の科学 2 卷 1 号 Page3-8(2003. 02)

14. マレイン酸クロルフェニラミンによる薬疹 市販薬により非経口的経路で

感作された2例

橋本 洋子, 河本 慶子, 為政 大幾, 堀尾 武

日本皮膚アレルギー学会雑誌 10 卷 1 号 Page35-41(2002.03)

15. 尋常性ざ瘡患者に対する低刺激性ローション“アクセーヌ・シーバムクリーンウォーター”の使用経験

赤松 浩彦, 河本 慶子, 情野 治良, 赤松 恵美, 濱田 和彦, 高野 圭司

診療と新薬 36 卷 7 号 Page582-587(1999.07)

16. 右室駆出率測定用Swan-Ganz(R)カテーテルを用いた褐色細胞腫の術中管理

藤瀬 久美子, 浅井 隆, 河本 慶子, 内田 盛夫, 中村 誠志, 岩坂 壽二, 稲田 満夫

麻酔(0021-4892)41 卷 10 号 Page1651-1657(1992.10)

17. 右室駆出率測定用スワングアンツカテーテルを用いた腹腔鏡下腎摘出術の麻酔管理

藤瀬 久美子, 山田 功, 河本 慶子, 内田 盛夫

循環制御 13 卷 3 号 Page491-496(1992.09)

以上、主論文に報告された研究成績は、参考論文とともに公衆衛生学の進歩に寄与するところが大きいと認める。

平成 29 年 3 月 7 日

学位審査委員長

病態解析医学・医療教育学

教 授 藤本 眞一

学位審査委員

総合臨床病態学

教 授 西尾 健治

学位審査委員（指導教員）

公衆衛生学

教 授 今村 知明